

取扱説明書番号
M522-SXXZ

室内用

Small World

電波時計 取扱説明書 (報時付掛時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元

リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12

<http://www.rhythm.co.jp>

もくじ

1. 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください	3
2. 電波時計について	4
■ 電波時計とは	
■ 標準電波とは	
■ 電波の受信範囲について	
■ 標準電波の送信停止について	
■ 海外でのご使用について	
電波を受信しにくい環境	
3. 各部の名称と役割	5
4. ご使用方法	6
静電気による誤作動について	6
報時機能の設定	7
時計の掛けかた	8
5. 標準電波—受信の流れとサーチ機能の使いかた	9
6. 標準電波を受信できない場合	10
手動での時刻合わせ	
7. 電波受信機能のON/OFF切り替え操作	11
8. 電池の交換時期お知らせ機能	12
■ 電池の種類について	
■ 電池の寿命について	
9. 内蔵電池による時刻のバックアップ	13
10. 明暗センサーのはたらき	13
11. お手入れについて	13
12. 電池・製品の廃棄について	13
13. おもな製品仕様	14
14. アフターサービスについて	15
お問い合わせ先	

付属品


お試用電池 4個、 木ねじ 1個、 取扱説明書 本書、 保証書 1枚


1. 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。


- 図記号の説明 ○ 禁止(してはいけないこと)を示しています。
● 指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

 **必ず守る** 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届かぬ所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。


 **禁止** 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る


- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。


 **禁止** 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない


- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。


注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容


 **禁止** 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

 **禁止** 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。

 **禁止** ぬれた手で触らない
さびや故障の原因になります。

 **分解禁止** 分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

 **禁止** シンナーやベンゼン、アルコールなどの有機溶剤または有機溶剤を含むスプレーを付けない
溶解、変色、表面のくもりなどの原因になります。

 **禁止** 下記のような場所では使わない。
性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器の風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

2. 電波時計について

電波時計とは

クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

(<http://jy.nict.go.jp>)

標準電波の送信停止について

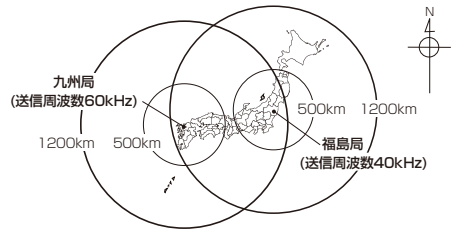
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

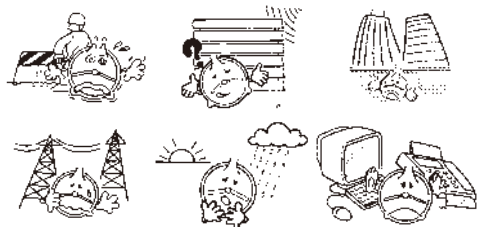


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

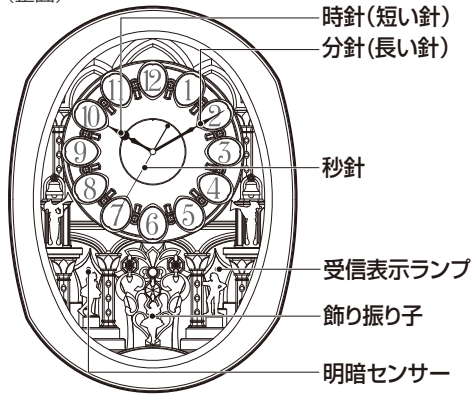
- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下、ビルの谷間、ビルの中など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



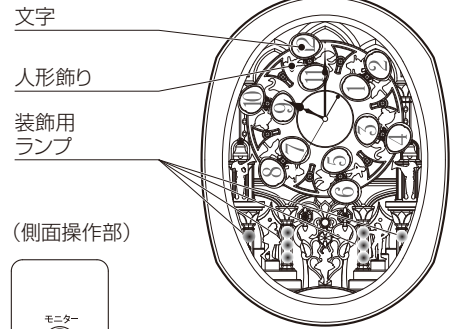
3. 各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

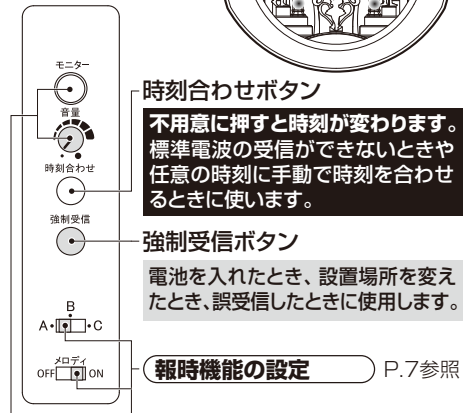
(正面)



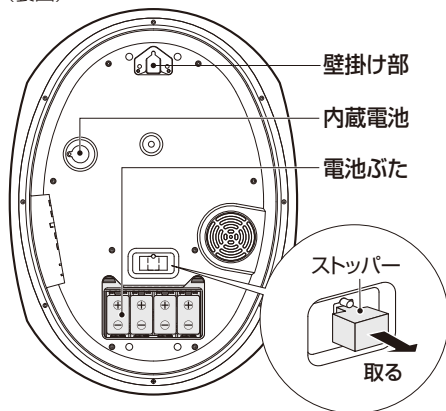
【文字盤が回転した状態】



(側面操作部)



(裏面)



振り子が左右に動かないときは、時計を垂直に立て、右図のようにつまみを一度、上の溝に押し上げてから離してください。

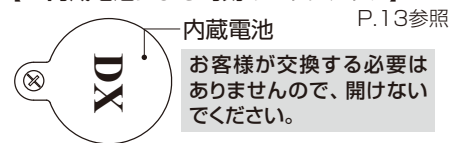
ストッパーは、輸送時の振動や衝撃から機構を保護するものです。使用するときには取り外し、輸送する際は取り付けてください。

針の動き……通常の時刻表示

時針・分針 : 10秒に1回動きます。
秒針 : 滑らかな1秒ステップで動きます。

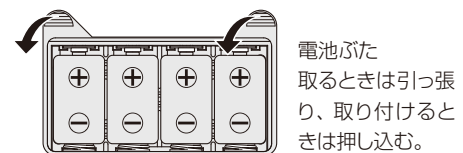
※自動受信により、時刻を修正するときは早送りで移動したり、停止することがあります。

【9.内蔵電池による時刻のバックアップ】



表示用電池を入れる

単1形マンガン乾電池を電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて4個入れる。



注意 電池の⊕⊖を逆に入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

4. ご使用方法

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、**（手動での時刻合わせ）**（P.10）を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

- ① 操作中にメロディが大きな音で鳴らないように音量を最小にする
- ② 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて表示用の単1形マンガン乾電池を入れる

- ③ 強制受信ボタンを押す

【5. 標準電波・受信の流れとサーチ機能の使いかた】（P.9）参照

受信表示ランプが点灯して受信を開始します。

針が早送りで移動を開始し、およそ3分以内に時刻を表示します。

※電池を入れた後は必ず強制受信ボタンを押してください。

※受信中はボタン操作を行わないでください。

- ④ ストッパーを取る

- ⑤ **（時計の掛けかた）**（P.8）に従って時計を確実に掛ける

- ⑥ 受信開始から15分程度経過したら受信結果を確認する

受信表示ランプが2秒に1回点灯していれば、受信に成功し、正しい時刻を表示します。消灯している場合は、受信に失敗していますので、電波サーチ機能で受信する所を探るか、**【6. 標準電波を受信できない場合】**（P.10）を参照してください。

※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。

※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。

※受信表示ランプは、24～25時間以内の受信結果を表示します。

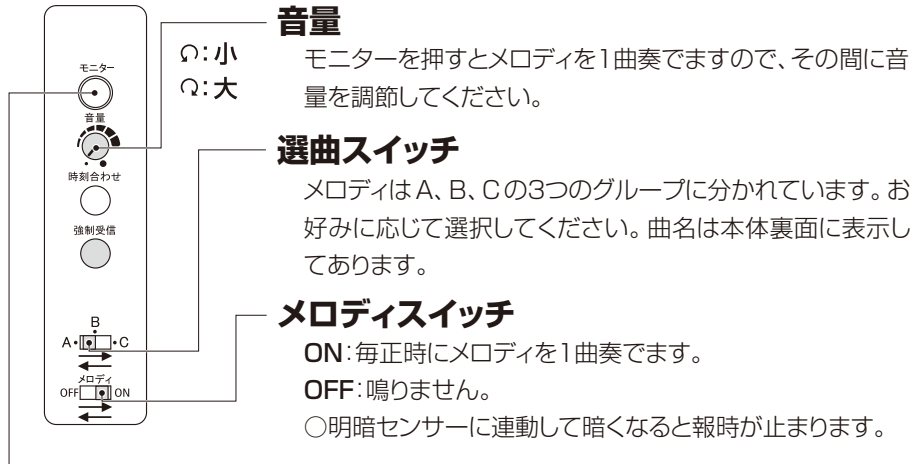
※ 報時機能を設定してお使いください。**（報時機能の設定）**（P.7）参照

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときは強制受信ボタンを押してください。

報時機能の設定

側面操作部



モニター（メロディの試聴）

モニターを押すとメロディを1曲奏でます。メロディが鳴っているときにモニターを押すと次のメロディに切り替わります。次に報時するときには、再生の順番が1つ進みます。

- 報時すると曲目の順番が1つ進みます。
- メロディは時刻ごとに固定されていません。また順番も変えられません。
- 時刻合わせボタンを操作して、正時たとえば10時ちょうどに合わせても報時をしません。

メロディスイッチがONのときは、毎正時たとえば10時ちょうどにメロディが流れます。ランプが点滅して文字盤が動き出し、数字の下からは人形飾りが回転しながら現れます。メロディが終わると文字盤が元の位置に戻ります。

- メロディは**選曲スイッチ**で3つのグループから1つを選曲してください。
- モニター**を押すとメロディが鳴りますので、音量を調節してください。メロディが鳴っているときに再度**モニター**を押すと、曲が変わります。
- 報時するたびに曲順が1つ進みます。曲目は時計裏面に表示してあります。
- 曲順を変えたり、時刻ごとにメロディを設定することはできません。

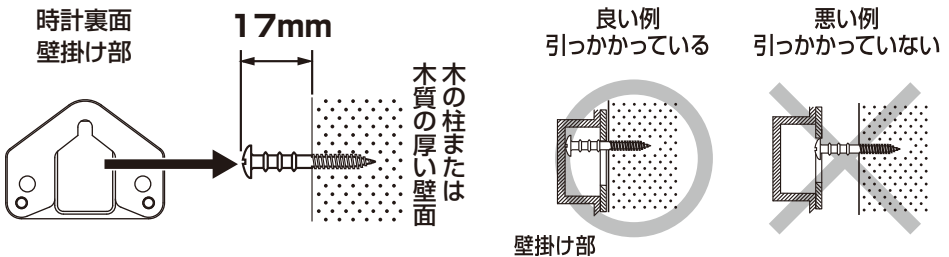
時計の掛けかた

注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

■ 木の柱または木質の厚い壁面の場合

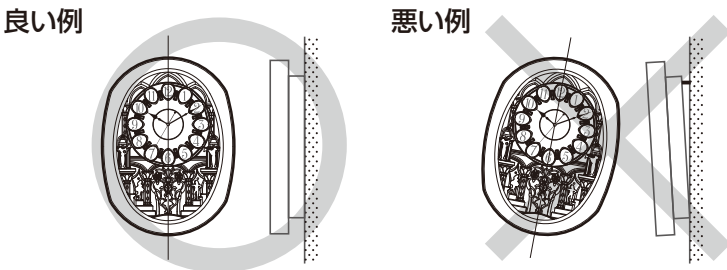
- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



■ その他の壁面の場合

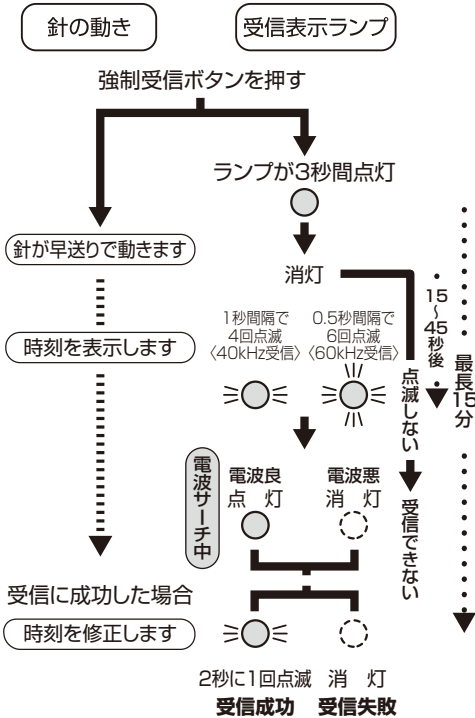
- 石こうボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

※振り子などの止まりの原因となりますので、時計を垂直に掛けてください。



5. 標準電波一受信の流れとサーチ機能の使いかた

電波受信の流れ(受信表示ランプの見かた)



電波サーチ機能は、受信表示ランプの点灯または消灯により、時計がある場所の電波状態をお知らせします。

サーチ機能を使用するときの手順

- ① 窓際やベランダなど電波の受信しやすいところに時計を移動させます。
 - ② 強制受信ボタンを押します。
受信表示ランプが約3秒間点灯後に受信を開始。針は早送りで移動し、時刻を表示します。
 - ③ 受信局を表示後、受信表示ランプが点灯したら、設置したい場所に時計を移動します。
 - ④ 電波状態を確認します。
点灯：電波良好→受信できる可能性大
消灯：受信できない
→時計を移動させてください。
- 点灯と消灯が繰り返されるときは電波が弱いです。受信に失敗する可能性があります。
- 電波サーチ中に、時計の向きや位置を変えると受信表示ランプの状態が変化します。
- ⑤ 受信結果を表示します。
受信成功：2秒に1回点滅
受信失敗：消灯

- 受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えて**強制受信ボタン**を押してください。
- 受信に失敗している場合は、表示されている時刻は正しくありません。
- 受信表示ランプは、受信に成功すると最長で24時間表示を続けます。

6. 標準電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。

●時刻を合わせて使用する

ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。

電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

手動での時刻合わせ…電波を受信できないときや任意の時刻に合わせてとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。

※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。

※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

[7. 電波受信機能のON/OFF切り替え操作] (P.11)参照

操作

○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。

○時刻合わせボタンを押し続けると早送りで動きます。このとき秒針は12時位置になったときに停止し、ボタンを離れたときに動き出します。

秒針の動きについて

秒は、時刻合わせボタンを離れたときにゼロ秒に設定されます。

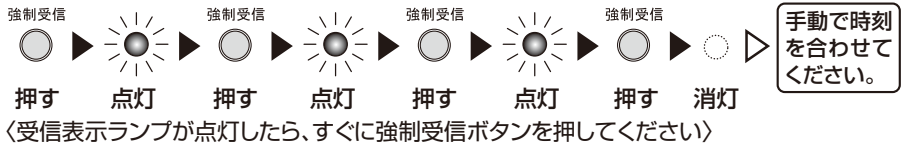
秒針が早送りで動いているときに、時刻合わせボタンを離すと、そのまま早送りで現在時刻の秒位置まで動き、その後滑らかなステップで1秒単位に動きます。

7. 電波受信機能のON/OFF切り替え操作

誤受信しやすいところや意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。電波を受信しないときの時間精度はクォーツ精度になります。

■電波受信機能をOFFにするには(受信機能を無効にするには)

図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。

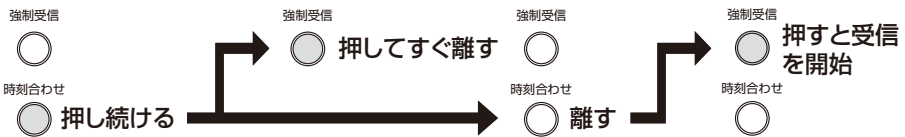


※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

■電波受信機能をONにするには(受信を開始するには)

電波受信機能は、工場を出荷するときにON(有効)にしています。

OFFの状態からONにするときには、時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。



ご注意

※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。

※電池を取り出しても設定を長い時間保持しますので、電波受信機能をOFFからONにするには、必ず上記の操作をしてください。

8. 電池の交換時期お知らせ機能…常時秒針が12時位置に止まる

電池の交換時期になると常時秒針が12時位置に止まり、電波の受信と報時を停止します。時針と分針はこのような状態になってから1ヵ月程度動き続けますが早めに電池を交換してください。

△ 注意 電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに新品の電池に交換するか、電池を取り出す。
 - 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
 - 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- ※単1形マンガン乾電池4個の代わりに、単1形アルカリ乾電池4個を使用することができます。



■ 電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

■ 電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。
- 買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

9. 内蔵電池による時刻のバックアップ

この時計は、工場出荷時に電波を受信させ、内蔵電池により時を刻み続けています。

また、内蔵電池により受信を試み、受信に成功した場合、時刻を修正しています。

表示用電池を入れて強制受信ボタンを押すと3分以内に時刻を表示します。

表示用電池を取り外したり、電池切れのときには、内蔵電池に切り替わり時を刻み続けます。

※内蔵電池のみでは、時刻表示および報時をしません。

※表示用電池により、時刻表示をしているときには内蔵電池をしません。

※電波受信機能が「OFF」のときは受信を行いません。

10. 明暗センサーのはたらき

明暗センサーが暗いと判別した場合

- ①受信表示ランプの消灯 ②秒針を12時位置で停止 ③報時の停止

昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが働きます。

十分に明るいところで秒針が12時位置で停止している場合は、電池の交換が必要です。

[8.電池の交換時期お知らせ機能] (P.12)参照

11. お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

※木材など天然素材のものは、経年変化により色合いが変化することがあります。

12. 電池・製品の廃棄について

- お住まいの地区自治体の指定に従ってください。
- 廃棄するときは電池と本体を分別してください。

13. おもな製品仕様

使用温度範囲	-10 ~ 50℃ *結露しないこと		
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 秒針 ±1秒 時分針 目盛りに対して±3度 標準電波を受信しない場合 平均月差±20秒 温度が5~35℃のときのクォーツ精度		
報時精度	表示時刻に対して±1秒		
使用電池	表示用:単1形マンガン乾電池	JIS規格 R20P 1.5V	4個
	内蔵:リチウム電池	JIS規格 CR2032 3V	1個
電池寿命	表示用:約1年 標準電波の受信に成功し、報時を音量最大で1日に17回行ったとき 内蔵:工場出荷時より5年以上(交換不要)		
電池の交換時期	交換時期になると秒針が常時12時位置に停止		
お知らせ機能			
報時機能	毎正時に曲を奏で、LEDが点滅しながら文字と飾りが回転する		
ON/OFF	スイッチ切り替え		
自動鳴り止め	明暗センサーと連動して暗所停止		
収録曲数	電子音メロディ 30曲を3つのグループに分けて収録		
音量調節	ロータリー式ボリューム		
モニター	メロディの試聴、からくりパフォーマンス		
飾り振り子	装飾用		
防滴防塵機能	なし		
電波受信機能	標準電波受信による時刻修正		
受信局	福島局/九州局 自動選択		
受信回数	最少 1回/日、 最多 12回/日 *受信状態により変化		
受信ON/OFF	ボタン操作		
手動時刻合わせ	ボタン操作		

標準電波受信開始時刻

受信状態により受信回数や受信開始時刻が変わります。

受信成功から72時間以内の場合	最少 1回/日、 最多 3回/日 AM 2:16:40、AM 3:16:40、AM 4:16:40
連続72時間以上受信に失敗している場合 初めから受信に失敗している場合 手動で時刻合わせをした場合	12回/日 奇数時の16分40秒 例 AM 1:16:40、AM 3:16:40など

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

14. アフターサービスについて

この製品のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきますことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

ご使用方法やアフターサービスについてのご相談は、お客様相談室にお問い合わせください。

お問い合わせに際しては、時計裏面または底面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。 例 4MN○○○

(フリーダイヤル)

お客様相談室 0120-557-005

受付時間 9:00~17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

製造
発売元

リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12

<http://www.rhythm.co.jp>

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。

本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますので、ご了承ください。

Small World

M522-SXXZ

(Y1605)